

4月8日

## アメリカ大陸の殉教者

William Augustus Muhlenberg

(1796.9.16~1877.4.8)

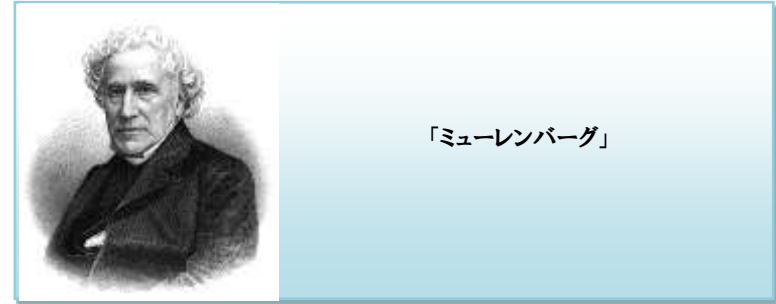
~米国聖公会神学者・聖歌作家~

<人名事典などでの別表記：ミュールンベルク>

4月8日は19世紀に活躍した米国聖公会の神学者での聖歌作家であるミュールンバーグが亡くなった日ですが、日本聖公会はこの日に合わせてアメリカ大陸の殉教者を覚える日を設定しました。そこでここでは、ミュールンバーグについて紹介していきたいと思えます。

ミュールンバーグはフィラデルフィアで、ドイツ人家系のもとに生まれます。家族はみなルター派の教会員で、曾祖父はアメリカのルター派教会の実質的な創設者であったハインリヒ・メルヒオル・ミュールンベルグでした。しかし彼は英語を使う礼拝に引かれ、米国聖公会へと移ります。

ペンシルバニア大学を卒業し、その後も神学を学びながら、ミュールンバーグは各地で教会活動を行います。そして1837年~46年にはセント・ポールズ・カレッジの教授となり、1846年にはニューヨークに聖餐教会を設立して牧師として働きます。この聖餐教会では、当時指定席があった会衆席をすべて自由席にし、また教会の附属学校の運営にも手を入れます。さらに失業者資金の設立をしたり、市街地の貧しい子どもたちを旅行に連れて行ったりします。



これらのことでミュールンバーグ自身の生活は貧しかったのですが、それ以上に清貧に徹していきました。

また彼は、音楽家として、また作詞家として、様々なキリスト教の伝統の中から芸術性豊かな礼拝様式を作り上げていきます。さらに1853年の主教協議会では、すべての教派の牧師が共に協力することで、あらゆる階層の人々に福音を宣べ伝えることが必要だと提案していきます。

ミュールンバーグは1857年、ニューヨークに聖ルカ病院を設立し、貧しい人、困っている人のために、その残りの生涯すべてを費やします。その時には彼は60歳をこえていました。

ミュールンバーグの他にも、アメリカで黒人の公民権運動を指導し、ノーベル賞を受賞したマーチン・ルーサー・キング Jr.が銃弾に倒れた日である1968年4月4日も覚えて祈りましょう。

<特禱>

**全能の神よ、あなたは証びとを召して国々、ことにアメリカ大陸に遣わし、その生涯によって栄光を現されました。どうか殉教者たちとの交わりが強められ、わたしたちもその模範に倣い、感謝して忠実にみ国のために働くことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。**  
アーメン